



認定看護師通信



2016年11月発行
Vol.16

地域住民の方にお話をしてきました

明日から始めませんか？
脳卒中発症予防



H28年9月野中区敬老会で脳卒中発症予防についてお話ししました。荒尾市の2015年の総人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は32.6%、すでに3割を超えており、全国平均（26.6%）よりも5.9ポイントも高いです。（総務省 国勢調査及び国立社会保障より）脳卒中予防について「目的には必ず目標が必要である」ことで身近な出来る事を中心に説明しましたが、30名の高齢者の方より活発な質問も飛び交い、それぞれの健康について考える機会になったことを期待しています。地域の住民の方にこのような機会があれば今後も伝えたいと思っています。また院内でも「くまモン脳卒中ノート」を配布しています。必要な方は私までお願いします。

文責：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 寺本清美

手袋について

当院で採用している未滅菌手袋は、ニトリル手袋とプラスチック手袋があります。この2種類の手袋の特徴と（当院での）使い分けを下記の表でご確認ください。また、廃棄する際は、血液などが付着していれば感染性廃棄物容器、それ以外はプラスチック用のごみ箱に入れ、可燃物として廃棄しないようにしてください。

（オムツ交換時に使用するものはオムツと一緒に廃棄してください）

種類	ニトリル手袋（ブルー）	プラスチック手袋（透明）
強度	○	△
コスト	やや高い	安価
フィット感	○	△
破損率	1.3%	8.2%
使用用途	<ul style="list-style-type: none"> * 指先の巧緻性が必要な処置 例) 採血, 静脈注射, 点滴注射 * テープがくっついては困る処置 例) フィルム材の交換 	<ul style="list-style-type: none"> * 日常の患者ケア 例) 清拭, 陰部洗浄, 吸引など * 環境整備 * 物品の洗浄

手袋使用のポイント

- * 一度箱から取り出した手袋は戻さない
- * 着用前に手指衛生を行う（汚染した手で手袋を取り装着すると手袋が汚染する）
- * 外した後も手指衛生を行う
（ピンホールがある可能性, 脱ぐときに手が汚染する可能性, 着用時の湿潤環境での手の細菌増殖）
- * 患者ごとに交換する
- * 同一患者でもケアの部位が変われば交換する

文責：感染管理認定看護師 船原初美